

第2章

自分の住んでいる地域の特性の理解

- 2-1 自分の住んでいる地域の特性
- 2-2 防災マップの作成
- 2-3 地域防災力の診断

この章で学ぶこと

- 地域の特性によって、自主防災活動の内容も変わってくることを理解します。
- 防災マップの作成方法を学びます。
- 自分の住んでいる地域の防災力を診断することにより、現状を把握し、今後の自主防災活動の参考にします。

第2章 自分の住んでいる地域の特性の理解

2-1 自分の住んでいる地域の特性

(1) 自分の住んでいる地域の特性とは

地域の特性によって、求められる防災活動は異なります。

- 津波の危険性が高い地域では、津波警報発表時等に、それぞれが、より早く安全な場所へ避難することが必要です。
- 古い木造住宅が密集している地域では、火事の際に素早い初期消火活動が必要となります。
- ※ 地域の特性が違えば、自ずと日々の防災活動の内容は違ってきます。
- ※ 自主防災活動の第一歩は、「自分の住んでいる地域の特性を知る」ことです。

地域の特性には、次の3種類があります。

- 「地理的・地盤的特性」 (例) 海に近い、地盤が低い、傾斜地であるなど
- 「街並み・建物の特性」 (例) 木造住宅が多い、高いビルが多いなど
- 「人口分布の特性」 (例) 高齢者が多い、核家族の若い子育て世代が多いなど

(2) 自分の住んでいる地域の防災マップを作成してみましょう

防災マップは、それを作ること自体が目的ではありません。地域の方々が、主体となって防災を考え、作り上げる過程で地域の問題を洗い出し、それを認識し、解決する方策を考えることに意味があります。

こうしたことから、上記に挙げた「自分の住んでいる地域の特性」を防災マップ上に書き込みができてることがとても重要になります。

なお、防災マップの作成にあたっては、消防署や消防出張所等で助言や支援等を行っていますのでご相談ください。

Memo



2-2 防災マップの作成

その地域に住んでいる住民と一緒に防災マップを作り上げるというのも、防災活動の一つです。地域を歩いて調べて防災マップを作成する場合は、下記のような手順で行うと良いでしょう。

実施要領

① 準備【15分】

- 防災マップを作成する地域や、地図に盛り込む項目を事前に決めておきましょう。
 - ✓ 盛り込む項目は、次の「地域を知ろう」の項目を参照してください。
 - ✓ 学校や病院、消防署など災害に役立つ施設は、あらかじめ地図に記入しておく
と便利です。
- 地図に盛り込む項目が決まったら、実際に調査する際のチェックポイントを話し
合いましょう。
- 参加者を6～10名程度の班に分け、班毎に防災チェックをするエリアを決めま
しょう。(エリアは例えば町丁目で分ける。)
- 班毎に班長や写真係、記録係なども決めておくと、スムーズに作業が進みます。
- 必要な道具(説明)

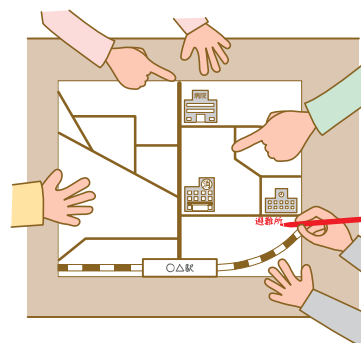
・地図(※1)	・カメラ(※2)
・筆記用具	・丸型ラベルシール(※3)
・付箋紙	・地図用の台紙

※1 地図の種類

1. 打ち合わせ用・調査用
みんなで囲めるサイズで調査時にも使える地図
2. 作成用
調査項目をまとめる地図
配布や掲示することも考えましょう

※2 デジタルカメラがデータの貼付けに便利です。

※3 色分けし、項目ごとに地図上に印をつけます。



地域を知ろう

(1) 地域の特性は？

平地、海岸沿い、河川沿い、急傾斜地、木造密集地域、繁華街・商業地域、中高層住宅地域、過去の災害発生箇所・・・

(2) 危険箇所はどこか？

ブロック塀、石積みよう壁、自動販売機、木造密集地域、狭隘道路きょうあい・・・

(3) 災害時に役立つ知識・技能の持ち主は？

医者、看護師、大工さん、福祉関係者、防災士、アマチュア無線愛好家・・・

(4) 災害時に役立つ施設は？

避難所、防災倉庫、消防署、病院、公衆電話、コンビニ、ガソリンスタンド・・・

(5) 災害時に支援を要する人は？

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、児童、外国人・・・

POINT！

- ✓ 要介護者・一人暮らしの高齢者・寝たきりの高齢者などの災害時要援護者の個人情報については、あらかじめ本人の承諾を得るなどその取扱いに十分注意する必要があります。
- ✓ 防災マップに記載される事柄は、地域住民の間で十分話し合い、合意を得ておくことが必要です。

② まち歩きにでかけよう (タウンウォッチング) 【1～2時間】

- 事前に打ち合わせを行った項目を中心に、災害時に注意が必要だと思われる場所や物、逆に安全な所や役立つ資源、頼りになる人などをみんなで見つけましょう。
- 見つけた内容は、地図やカメラに記録しておきましょう。
- 所要時間は範囲にもよりますが、約1～2時間くらいが適当です。
- 自主防災組織の専門班ごとにまち歩きのチームを編成し、それぞれの専門性の観点からまち歩きを実施することも一つの有効な方法です。

注意事項

- ✓ 事故に注意しましょう。調査に熱中するあまり、自動車等に対する注意力が散漫となることから、安全管理係を配置して事故防止に十分に留意しましょう。
- ✓ 上の方を見ていると、足元がおろそかになることから、安全管理に配慮しましょう。
- ✓ プライバシーに配慮しましょう。調査にあたっては、個人のプライバシーに配慮し、トラブルの回避に努めましょう。
- ✓ 各種ハザードマップを活用しましょう。
ハザードマップの(例)(仙台防災ハザードマップ、仙台市地震ハザードマップ、仙台市津波ハザードマップ〔津波からの避難の手引き〕、仙台市浸水想定区域図〔内水ハザードマップ〕)

3 防災マップを作ってみましょう【30分】

- 班毎にチェックしてきた結果を地図上にまとめます。班全員で調査結果について検討します。
- カラーペンや付箋紙をうまく使ってわかりやすい地図をつくりまます。
- 地図上に写真、カラーペン、付箋紙等で各種情報を貼付けていきましょう。
- 透明ビニールシートを地図に貼って油性ペンで情報を記入する方法もあります。
- 写真はデジタルカメラを利用すると短時間で検討に入ることができます。
- 写真は地図の余白などに貼るなどして工夫しましょう。

※ペンで塗る色は下表を参考にしてください。

黒色	鉄道	
茶色	大きな道路	
ピンク色	せまい道路 (消防車が入れないなど)	
青色	用水路、小さな河川、池、沼、プール	
緑色	広場、公園、建物が無い広い場所	
紫色	火災時に燃え広がりの防止になるような建物	
赤色	過去の災害発生箇所	など

※シールを貼る場所は下表を参考にしてください。

緑色	官公庁 (役所、警察、消防)、医療機関、学校、公共施設など
青色	避難所、防災倉庫、食料・燃料販売店、重機のある事業所、水のある場所など
赤色	ブロック塀、看板、自動販売機、危険物貯蔵施設など
橙色	頼りになる人がいる場所
黄色	手助けが必要な人がいる家の場所

4 報告会の開催【15分】

- 出来上がった防災マップについて話し合い、意見交換をしましょう。
- それぞれに見る視点が違うなど、地図だけでは分からなかった“まち”の顔が見えてきます。



2-3 地域防災力の診断

地域防災力診断とは

地域防災力診断は、チェック項目に「はい」か「いいえ」で答えることで、その地域の防災力が今どのレベルであるかを診断するものです。診断結果は点数となって出ますので、現状のレベルが客観的に分かり、他の地域との比較も容易です。また、この点数を上げるために取組むことで、その地域の特性や弱点に合った防災活動を進めることができます。

チェック項目は、地域防災力に関する4つの要素として、「知識」、「技能」、「資源」、「組織」に分類されています。

なお、このチェック項目は地震災害を対象とした一般的なものです。

実際に診断してみましょう

次ページの診断チェック項目で、実際に自分の住んでいる地域の防災力を診断してみましょう。診断方法は、記入例を参照してください。

グループディスカッション

グループに分かれて、診断結果を確認しましょう。診断結果についての感想や、他の地域と比較して気付いたことなどをグループで話し合しましょう。

【 ディスカッション手順 】

- 3～5人のグループに分かれてください。
- グループ内で診断結果を見せ合い、自由にディスカッションしてください。
(まとめる必要はありませんので、思いついたことを何でも自由に発言してください。)

Memo



チェックシートの記入例

レベル1 防災組織ができて、役割分担が決められた活動レベル (各1点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
1. 自主防災組織や防災部など、防災のための組織がある				①
2. 自主防災組織の各専門班の役割分担と担当者を決めている				①
3. 自主防災組織の災害対策本部を設置する場所を決めている				1
4. 町内会や自治会としてのいつとき避難場所を決めている				①
5. いつとき避難場所や指定避難所への主要な避難経路を決めている				1
6. 平常時において、自主防災組織としての活動を定期的に行っている				①
レベル1の合計得点				④

【解説】

- ✓ 活動できているチェック項目には、得点欄の数字に○印を記入し、活動できていないチェック項目には、得点欄の数字に／を記入してください。
- ✓ 「知識」、「技能」、「資源」、「組織」ごとに○印の数字の合計を計算し、合計得点欄に記入してください。
- ✓ レベル1のチェック項目は、たまたま「組織」に関するものだけで構成されています。他のレベルでは、4つの要素が適宜、混合されて構成されています。

チェックシート

① レベル1

防災組織ができて、役割分担が決められた活動レベル (各1点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
1. 自主防災組織や防災部など、防災のための組織がある				1
2. 自主防災組織の各専門班の役割分担と担当者を決めている				1
3. 自主防災組織の災害対策本部を設置する場所を決めている				1
4. 町内会や自治会としてのいつとき避難場所を決めている				1
5. いつとき避難場所や指定避難所への主要な避難経路を決めている				1
6. 平常時において、自主防災組織としての活動を定期的に行っている				1
レベル1の合計得点				

2 レベル2

行政主導の防災関連活動に参加する活動レベル (各2点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
7. 市や消防署が主催する防災訓練に自主防災組織として定期的に参加している		2		
8. 防災講演会や防災セミナーなどに自主防災組織の主要なメンバーを派遣している	2			
9. 消防や日赤が主催する応急救護の研修に自主防災組織の主要なメンバーを派遣している		2		
10. 防災関連の情報を自主防災組織から各世帯に対して定期的に発信している	2			
11. 自主防災組織として災害発生時の対応マニュアルを作成している				2
12. 防災マップづくりのために消防署の助言等を受けている	2			
13. 自分の地域の地震の揺れやすさを仙台市の「揺れやすさマップ」等で把握している	2			
14. 仙台市の防災資機材倉庫に保管されている資機材を自主防災組織として把握している			2	
レベル2の合計得点				

※ 仙台市の「揺れやすさマップ」は市のホームページの消防・防災・災害対策（災害に備えて）でも確認することができます。

3 レベル3

自主的に地域の現状を調査し、問題点を明らかにする活動レベル (各3点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
15. 自分の地域の災害に対する弱点や特徴を把握している	3			
16. 自主防災組織として断水時に利用できる飲料水を備蓄し、井戸など雑用水を確保している			3	
17. 自主防災組織としてジャッキやバールなどの防災用資機材を備蓄・保管している			3	
18. 自主防災組織として応急手当のための救護用品を備蓄・保管している			3	
19. 自主防災組織として決めた住民の安否確認方法に基づいた訓練を行っている。		3		
20. 学校や行政と連携し、避難所運営マニュアルを作成している				3
レベル3の合計得点				

4 レベル4

レベル3より高度な調査を行い、かつ継続的な活動を行なっているレベル (各4点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
21. 自主防災組織は、夜間と昼間などの状況に応じた複数の体制づくりができています				4
22. 地域内の災害時要援護者の避難・救護訓練を社会福祉協議会等と協力して行っている		4		
23. 電気やガス等のエネルギー供給が停止した状態を想定した防災訓練を行っている		4		
24. 定期的に自主防災組織が持っている防災資機材を点検し、協力者と連絡を取っている			4	
25. 地域内の危険情報・安全情報を調査した防災マップを定期的に更新している	4			
レベル4の合計得点				

5 レベル5

自主的に地域の改善計画を立案し、達成度の確認や計画の見直しができる活動レベル (各5点)

チェック項目	知識	技能	資源	組織
26. 学校と連携した防災訓練を行っている。		5		
27. 町内会内や近隣にある開業医や病院と連携した防災訓練を行っている		5		
28. 近隣や遠隔の別の自主防災組織との情報交換を行っている	5			
29. 近隣や遠隔の別の自主防災組織との協力体制ができています			5	
30. 自主防災活動に役に立つ組織（企業等）や人材（看護師経験者等）との協力関係ができています。			5	
31. 自主防災組織としての自主防災計画（被害を減らすための改善計画）を作成している				5
32. 自主防災組織としての自主防災計画を全世帯に配付している	5			
33. 自主防災組織としての自主防災計画の定期的な見直しや達成度のチェックを行っている				5
レベル5の合計得点				

総合得点の計算

	知識	技能	資源	組織
レベル1の合計得点				
レベル2の合計得点				
レベル3の合計得点				
レベル4の合計得点				
レベル5の合計得点				
要素ごとの合計得点(点)				
要素ごとの到達率(%)				
地域防災力の総合得点(点)				

総合得点の計算例(解説)

	知識	技能	資源	組織
レベル1の合計得点				4
レベル2の合計得点	6	4	2	2
レベル3の合計得点	0	0	6	3
レベル4の合計得点	0	4	4	0
レベル5の合計得点	5	10	0	5
要素ごとの合計得点(点)	11	18	12	14
要素ごとの到達率(%)	44	72	48	56
地域防災力の総合得点(点)	55			

【解説】

- ✓ 各レベルの合計得点を要素ごとに集計することで、要素ごとの合計得点を計算します。
- ✓ 要素ごとの合計得点に4をそれぞれかけると、要素ごとの満点に対する達成率を計算することができます。上表の計算例の場合、「知識」の合計得点11点は、25点満点に対して44%の達成率となります。4つの要素の中で、「技能」の達成率が72%と最も高いことがわかります。
- ✓ 地域防災力の総合得点は、要素ごとの合計得点を足し合わせて求めます。上表の計算例の場合、100点満点に対して、55点となります。

Memo

2

自分の住んでいる地域の特性の理解

A large rectangular area enclosed by a dashed blue border, containing numerous horizontal dotted lines for writing.

